

教科「情報」での進路学習

キャリア教育との連携

東洋大学附属牛久高等学校 篠田 剛史

昨年度の情報の授業において、プレゼンテーションの内容として附属大学の学部・学科について調べ発表するという内容を行った。これは、プレゼンテーション能力の育成だけでなく、進路に対して少しでも関心を持ってもらいたい、何か目標を持って高校生活を送ってもらいたいという狙いも含まれる。今回はこの授業実践の報告をしたいと考える。

1. はじめに

現在、キャリア教育が注目されており、本校でも力を入れている取り組みである。大学全入時代と言われ、大学へ行くことが当たり前になりつつある。特色のある学部・学科も増えており、進学についてしっかりと考えなければならない。また、高校生活を送る上でも、目標を持った生活をしてほしいと考える。そのためにも進学先や、将来のことに目を向ける機会が必要になってくると考える。

2. 本校での情報科の授業

本校の情報に関する科目の実施状況（平成25年度実施）を以下に記述する。

2.1 第1学年

「社会と情報」2単位

2.2 第2学年

「情報A」1単位（1年次にて1単位履修済み）

2.3 第3学年

「情報B」1単位（理系進学コース）

「情報C」2単位（スポーツコース）

3. 情報Aで行う主な内容

今回発表する「情報A」で展開した主な内容を以下に記述する。

3.1 1年次

- ・情報モラル・著作権・情報のデジタル化
- ・リテラシー（Word, Excel など）

3.2 2年次

- ・画像処理・HTML・プレゼンテーション

4. 授業内容

4.1 単元の目標

- ・基本的なプレゼンテーション技術の習得。
- ・プレゼンテーションソフトの利用
- ・必要な情報の収集・表現ができる。
- ・調べた内容を理解し、伝えることができる。

4.2 プレゼンテーションの内容

本校の付属大学である東洋大学の学部・学科の内容について、まとめプレゼンテーションを行う。発表はグループで行い、発表の内容として主に以下の項目を示した。

- ・学部・学科の内容
- ・研究内容
- ・授業内容（シラバス）
- ・卒業後の進路
- ・入試方式・方法

4.3 評価の観点

①関心・意欲・態度

- ・積極的にグループに貢献している。
- ・発表をしっかりと聴いている。

②知識・理解

- ・プレゼンテーションについて理解している。
- ・発表方法・内容を理解している。

③思考・判断

- ・データ（資料）に基づき適切な表現方法を考えることができる。
- ・相手の立場に立ってどのように伝えるべきか考えることができる。

④技能・表現

- ・データ（資料）を視覚的に表現できる。
- ・相手に伝わりやすいような表現方法を取り、発表することができる。
- ・著作権・肖像権に配慮できる。

5. 授業の主な流れ

5.1 導入（1時間）

・進路に対してどのように考えているのかアンケートを取り、生徒の大学選びに対する考えや進路希望の実態を把握。アンケート結果については次項で説明する。

・6人程度のグループに別れて話し合い、学部を決定。ほかのグループとは異なる学部になるよう調整した。

5.2 展開① 調査・まとめ（3時間）

- ・グループ内で話し合い、2～3人で一つの学科について調べる。
- ・調べた内容をスライドにまとめ、各グループでリハーサルを行う。

5.3 展開② 発表（3時間）

- ・発表時間 15分/グループ
- ・発表聞いている人は発表者の評価を行う。評価項目は以下の通り

- ①グループで一番良かった発表者
- ②発表態度
- ③わかりやすさ
- ④発表者の良かったところ
- ⑤アドバイス

5.4 まとめ（1時間）

- ・自己評価を行う。評価項目は以下のとおり。
- ①自分のグループへの貢献度
- ②準備・発表を振り返って反省・感想
- ③ほかのグループの発表を聞いて気づいたところ

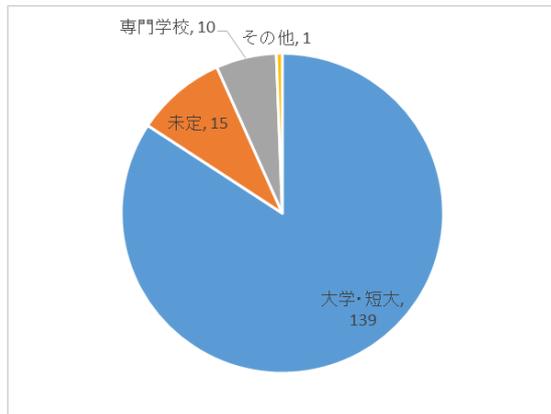
6. アンケート項目・結果

事前に行った、進路調査のアンケートの結果と事後の感想を以下にまとめる。

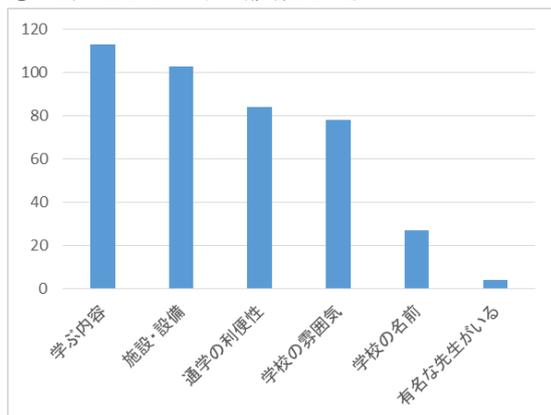
6.1 事前アンケート（N=165）

主なアンケート項目と結果は以下のとおり。

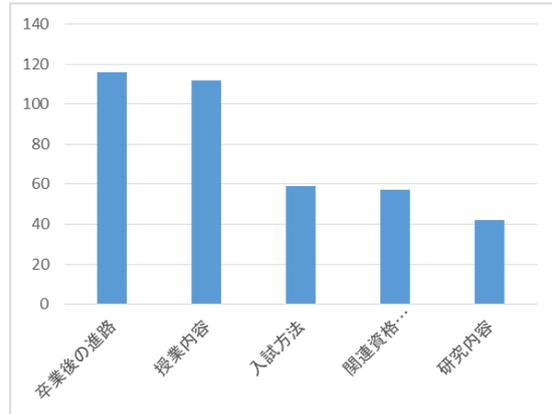
①希望進路



②大学を選ぶ基準（複数選択）



③学部・学科を選ぶ基準（複数選択）



6.2 事後アンケート

授業後の感想の一部を以下にまとめる。

- ・社会心理学科は楽しそうだった。
- ・私は英語系の学問に興味があるので授業を通して調べることができもっと調べたいと思いました。
- ・さまざまな学科の特色が見れて面白かったです。
- ・学部それぞれで学べることや似ている学部の違いがわかって良かった。
- ・自分でさらに進学したい学部を調べていきたい。
- ・特色や仕組みを知ることができ、ますます行きたくなってきた。これからも勉強を頑張っていこうと思った。
- ・初めて調べる学部だったので、知れたことが多く、視野をひろげることができた。
- ・まだはっきり自分の志望が決まってないから早めに決めたいと思う。

7. 今後の展望

7.1 今回の改善すべき点

- ・準備する時間が取れなかった。
- ・時間的な制約もあり、質疑・応答などの時間が取れなかった。
- ・事後アンケートで進路に対する意識調査まで行えると、変化が見られたかもしれない。

7.2 次回に向けて

- ・附属大学だけでなく、他大学や、専門学校、職業などについても取り入れていく。
- ・情報の授業だけではなく、他教科や総合的な学習の時間にも同様な取り組みを求める。
- ・インターネットの公式サイトによる調査だけでなく、大学パンフレットや、オープンキャンパスなどの資料なども取り入れていく。
- ・インターネットも、公式サイトだけではなく、様々なサイトの比較をさせ、信頼できる情報を選ぶことも考えさせたい。